

令和3年

10月

No.54

Autumn



所沢の“今”が2分でわかる！

ところざわ通信



Tokorozawa News

01 日本の伝統文化 邦楽と日本舞踊の大会が開催されました

9月25日(土) 市民文化センターミュージズ

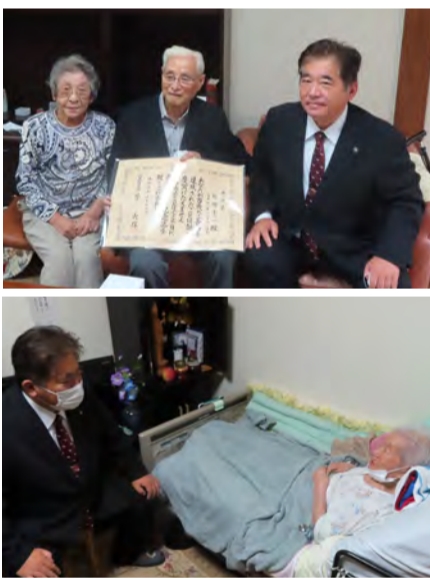


「^{あまがけ}天翔る 文化の香り 所沢」をテーマに開催されている所沢市文化祭の一環として、所沢市邦楽芸能大会がミュージズで行われました。琴、尺八、三絃や長唄、日本舞踊など日本の伝統文化・芸能に携わる方々の息の合った演奏、扇子の先まで感じる繊細な踊りや躍動感ある舞踊は来場者の心にしみるひとときとなりました。所沢市文化祭は美術展や演劇祭などが来年3月まで順次開催予定です。

撮影：市民カメラマン・佐藤清一郎

02 今年度 100 歳になる大先輩を市長が表敬訪問

9月18日(土) 市内各地



今年度 100 歳を迎える方は、市内で69人。敬老の日を前に、このうち3名の方を藤本市長が訪問しました。この日訪ねたのは、荻野皓一郎さん、北田喜一さん、中山キンさんのお三方。それぞれの訪問先で大先輩方のご長寿を祝して祝い品を手渡した市長は、三者三様の重厚な人生のお話に耳を傾けていました。

03 東京 2020 パラリンピック車いすテニス日本代表・田中^{まなみ}愛美選手が市長を表敬訪問

9月14日(火) 市役所3階市長応接室



所沢出身で現在も市内在住の田中愛美選手。残念ながらメダルには届きませんでしたが、応援してくれた所沢市民に感謝を伝えようと、市役所を訪れました。「コロナ禍でも大会が開催されて、試合ができたことが嬉しかった。今回はメダルが取れなかったのですが、パリ大会ではメダルを取りたいです」と、早速熱意を燃やす田中選手。最後には、実際に大会で使用したラケットと色紙を寄贈いただきました。

撮影：市民カメラマン・久保純子

04 認知症で困っている人を見守り、寄り添う社会に「ところざわオレンジウィーク」

9月13日(月)～9月17日(金) 市役所1階市民ホール



世界アルツハイマー月間の9月に、認知症を知り、身近に感じてもらうため、「ところざわオレンジウィーク」を開催。会場では、認知症の人のメッセージや作品を展示しました。「気持ち伝え合おう・分かち合おう」のボードには、家族の見守りに感謝する認知症の人のメッセージ、寄り添う家族からのメッセージが並びました。ボードを見た人には「自分事として感じたい…」「言葉に力を頂きました」と共感が広がっていました。

05 グランエミオ所沢にストリートピアノがお目見え！

9月4日(土) グランエミオ所沢



「音楽のあるまちづくり」の一環で、9月4日(土)から12月末まで(予定)、グランエミオ所沢にストリートピアノが設置されています。この日、オープニングイベントを飾ったのは公募で選ばれた人たちの演奏。子どもからお年寄りまで、美しい音色に耳を傾けていました。演奏が終わると、早速子どもたちが一人ずつピアノを弾き始め、所沢駅構内には軽やかなメロディが響き渡りました。

撮影：市民カメラマン・油井彩芽

06 いきものふれあいの里センター定例ガイドウォーク

9月4日(土) いきものふれあいの里センター周辺(荒幡)



いきものふれあいの里センターでは、センター周辺の散策イベントを毎月開催。今回は、コナラの木が生い茂るエリアでドングリを拾い歩いたり、「所沢」の由来となった「野老」などの植物を職員が案内してくれたりしました。センターに戻り、ドングリを割ってみると中から産み付けられた虫の卵が！驚きの声とともに、知らなかったドングリの生態に親子共に「へ～！」と発見があった1日でした。

撮影：市民カメラマン・伊藤磨紀子

最新情報はこちら

市ホームページ内「ところざわ通信」をご覧ください。



所沢市広報課フェイスブックもチェック！



令和3年(2021年)10月発行号【No.54】

発行 所沢市

〒359-8501 所沢市並木1-1-1

編集 広報課 ☎04-2998-9024

FAX 04-2994-0706

市HP <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

広報マスコット
ひばりちゃん

